別記様式（第４条関係）

会　議　録

会議の名称	令和８年度第１回宍粟市運賃協議分科会	
開催日時	令和８年 10 月６日（火）第１部 13 時 30 分～14 時 10 分 第２部 14 時 15 分～14 時 45 分	
開催場所	宍粟市役所　３階　庁議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	山本部長	
委員 氏　　名	（出席者） 別紙のとおり	（欠席者） 別紙のとおり
事務局 氏　　名	まちづくり部：菅野次長、まちづくり推進課：石垣課長・徳久阪係長・藤多主査、障がい福祉課：小椋次長兼課長、一宮市民局：溝口主事、千種市民局：山田主査	
傍聴人数	４人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・~~非公開~~	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ■議題 (1)市内路線バス乗継制度の廃止について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） 山本　信介　　㊞	

（会議の経過）

発言者	議題・発言内容
事務局	※第１部開会
会長	※２あいさつ
会長	それでは３議事（１）市内路線バス乗継制度の廃止について、事務局より説明をお願いする。
事務局	※議事（１）について説明

	合わせて６月 29 日開催の地域公共交通会議で乗継制度の代替として利用促進する１日乗車券の値上げについて提案があったが、こちらは、今後、運賃の値上げを検討する際に協議することを説明。
会長	何か意見等ありますか。
委員	乗継制度が事務的に非常に煩雑ということで私は賛成。500 円で 1 日乗車券を買ってもらったら良いと思う。この券はどこで販売されているか。
事務局	こちらは神姫バスの山崎待合所、各市民局と三方町出張所の窓口で販売している他、小型バス路線の車内でも購入可能。
委員	１日乗車券は使う日ごとにその都度、購入する必要があるのか。
事務局	１日乗車券はスクラッチ式になっていて、使用したい日に該当する年月日の数字を削って､バスを降車するときに乗務員へ提示することで利用でき、その日のうちであれば何度でも使用できる仕組みになっている｡そのため、事前に複数枚購入していただき、乗る日に１枚ずつ使い、無くなれば追加で購入していただくというように、少し手間がかかることにはなるが、使いやすいものになっている。
委員	ドライバーの負担はないということで合っているか。
事務局	利用者自身が利用する日にスクラッチを削ったものを提示するだけなので、ドライバーに負担はない。
委員	月間の定期というのもあるのか。
会長	1 か月と３か月の定期券があり、それぞれ 5,000 円と 14,200 円。利用頻度によってはこちらのほうが得になると思う。
委員	そちらは利用できる期間が記載されたものを購入するのか。
事務局	そのとおり。
委員	高速バスだと IC カードが利用できるが､路線バスはそこまで設備が整っておらず、利用できない。

事務局	来年４月以降に大型バス路線で IC カードを利用できるよう整備を進めている。その際に、１日乗車券や定期券についても、スマホアプリを利用される方に限られるが、提示することで使用できる仕組みを事業者と協議しているところである。
委員	将来的には小型バスでも IC を利用できるようになるか。
事務局	予算との兼ね合いがあり、今のところは難しい。
委員	IC 化については、まずハイエースの路線や篠陽タクシーが ICOCA のシステムを利用できるようにエントリーする必要があるので、そのことを会社側がどのように判断するかという課題と、車両に機器を取り付ける費用をどこが補填するかといった機械導入の費用をどうするかといった課題があると思う。
会長	その他意見はありますか。
委員	１日乗車券について、市民の方にあまり知られていないことが課題だと思う。来年４月からの制度廃止に伴って、いかにＰＲするかが大事。 時刻表や市の公式サイト、毎月の広報紙等で１日乗車券の使い方を含めてしっかりとＰＲすることで皆さんも納得するし､利用増につながると思う。説明をしていないと、運賃が高くなったから公共交通の利用をやめようとなるともったいないし、ＰＲすることで今まで往復でしか使っていない方が、一日乗車券を購入してついでに使ってみようとさらに利用するようになるかもしれない。 そうなると､時刻表冊子に My 時刻表というページがあるが､今は往復の乗降場所と時刻しか書けないが、３回利用するのであれば段を増やして、もっと書き込めるようにする等、その辺のイメージも変えていただく必要があると思う。
事務局	制度廃止の周知は行う予定だが、１日乗車券の利用の方法についても、市の広報紙や市公式サイトであわせてしっかりと周知していく。
会長	利用促進として何か他に行っていますか。
事務局	現在は、主に小学校での乗り方教室を実施しているほか、今年の夏に小学生６名が参加し、実際の路線バスに乗ってもらうという体験イベントを実

	施した。今後もバスに慣れ親しんでもらう事業を引き続き行っていきたい。
委員	私は老人クラブ代表で 65 歳以上が高齢者になるが、高齢者がどんどん増えていくなかで小学生向けと別に高齢者向けにも説明会をする機会を設けてもらえれば、老人クラブの理事会や役員会で周知できるのでお願いしたい。役員会で説明したら、単位クラブにも行って、役員だけに説明しても利用してもらえないので、最前線に行って説明するのが良いと思う。
事務局	老人クラブ連合会と調整させていただき、高齢者対象の説明会を実施できるよう企画していきたい。
会長	その他、意見等ありますか。 他に意見がないようであれば、協議結果の確認をさせていただきます。分科会規約第５条第４項では、議決は原則として、全会一致とされています。こちらの議事（１）について、異議はございませんか。
委員	※異議なし
会長	それでは、異議なしと認めます。議事（１）については、全会一致により原案のとおり承認されました。 また今後、字句等の修正が必要な場合、趣旨が変わらない範囲で、軽微な修正をさせていただくことについて、会長と事務局に一任していただくことでよろしいでしょうか。
委員	※異議なし
会長	ありがとうございます。異議なしと認め、そのように取扱わせていただきます。以上で、議事は終了しました。
事務局	４その他として、今後、１月に地域公共交通会議を開催する予定としており、その同日に第２回運賃協議分科会の開催を検討している。会議の議事としては、協議運賃の協議に係る関係者の負担軽減を目的として、運賃協議分科会の開催を省略する場合の軽微な事案の範囲について協議いただく予定である。こちらを次回の分科会に諮るにあたり、事前に市民の皆さんから意見を伺うため、11 月頃にパブリックコメントを実施する予定としており、その結果と合わせて、第２回分科会を開催させていただく。

事務局	※第１部閉会 ～ウイング神姫日下部委員退室～ ～篠陽タクシー出雲委員入室～
事務局	※第２部開会 ～次第２及び３議事（１）事務局説明までを第１部と同様に実施～
会長	議事（１）について何か意見等ありますか。
委員	篠陽タクシーとしては廃止されることに大賛成なのでしょうか。
委員	運行する乗務員が大賛成だと思う。乗務員も特に真面目な者ほど、トラブルが起きたとき慌ててしまう。姫路や神戸にバスを乗り継いでいくような客もいるなか、トラブルの原因になるような制度は廃止すべきと思っていた。制度としては思う様にしてもらったら良いと思っているが、運行の邪魔になるようなことだけは、乗務員のために避けてやらないといけない。篠陽タクシーだけでなく、神姫バスのような大きな会社の運転士にとっても、そういうことをするのは納得できない。
会長	ただいまの意見としては、乗継制度が特に運転士さんに負担がかかっていて、制度自体は良いですが、とにかく複雑な制度で、その場ですぐに解決できないようなトラブルの事案が起こっているということでした。 その他に意見等ありますか。 他に意見がないようであれば、協議結果の確認をさせていただきます。分科会規約第５条第４項では、議決は原則として、全会一致とされています。こちらの議事（１）について、異議はございませんか。
委員	※異議なし
会長	それでは、異議なしと認めます。議事（１）については、全会一致により原案のとおり承認されました。 また今後、字句等の修正が必要な場合、趣旨が変わらない範囲で、軽微な修正をさせていただくことについて、会長と事務局に一任していただくことでよろしいでしょうか。
委員	※異議なし

会長	ありがとうございます。異議なしと認め、そのように取扱わせていただきます。以上で、議事は終了しました。
事務局	４その他 ～今後の運賃協議分科会の開催について第１部と同様に説明～ 他に委員等ありますか。
委員	今日、バスに乗ってきたが、昼間は利用者が少ない。どうすれば利用が増えるのかと考えている。 市役所の職員の方は、最近、通勤でバスをどれぐらい利用されているか。
事務局	大型バス路線は、始業時間の８時 30 分に間に合う便があり、通勤にバスを使っている職員もある。小型バス路線は、どうしても始業時間に間に合うバスがほとんどないのでなかなか日常的に利用するのが難しいが、例えば、歓送迎会のような時には帰りにバスを利用する職員もある。 ただ、市民局で会議があるときに積極的にバスを利用するという状況ではないので、少なくともこういう会議に出てくるときに職員が乗りやすい会議の開始時間を設定するということをやっていく必要があると思う。 それから、例えば今後、部活動の地域展開において中学生が利用できるような便がある場合は、バスの利用を推奨していくというようなことも含め、全体で利用者増に取り組んでいきたい。
委員	月に１日でも良いので職員のバス利用日を設けて、市役所職員が先頭に立って利用しているということをしてもらえたらと思う。
委員	それでも、路線バス再編当時はそういうことをやっていた。今言われたように、数日に一遍でも利用し合って、なるべく運行を続けようというのが公共交通だと思う。
委員	まずはまちづくり部から乗車していただいて、市役所内全体に広がり、いずれは市民全員が月１でも週１でも乗るようになれば、より利用しやすくなるものになっていくと思う。市役所内でのそういった会議体や老人クラブの集まり等、いろんな集まりで、この便のバスに乗ってくれば良いですよといった案内をした上で開催することで利用が増えていけば良いと思う。当然、帰宅時間も考慮する必要があるが。
会長	来年に向けた予算時期でもありますが、公共交通を使った行事やイベント

	を組合せたことを少しでもできるよう努力していきます。
事務局	※第２部閉会

発言者の表記は、「○○委員」、「事務局」とする。